

柏井園 かしはら キリスト教史學者、牧師。明治二年六月二十七日土佐國上佐郡福井村生れ、大正九年六月二十五日歿（八七〇—一九二〇）。號鴻峯學人、鴻峰生、柏井生等。高知共立學校を經て、明治二十四年同志社普通學校卒業。歸郷して高知英和女學校で教鞭を執ると、二十六年植村正久の紹介で明治學院神學部講師となり、二十八年教授。次でアメリカに渡り、ユニオン神學校、コロンビア大學に學ぶ。歸朝後東京神學社教授に轉じ、教頭を兼任。傍ら瀧野川聖學院、青山學院神學部に<sup>教授</sup>も出講。兼て植村主筆『福音新報』等の執筆、二十九年基督教青年會同盟の主筆となり、雑誌『開拓者』を創刊（主筆）。大正に入り同志と雑誌『文明評論』を創刊（後年單獨経営）。八年子賦ヶ谷日本基督教會牧師に就任。

譯書に、シー、イー、ノルトン著『ロダンテ研究』（明治二十九年四月十六日教文館）。著書は『ロドリモンド傳』（明治二十六年二月五日教文館）、『基督の教訓及人格』（大正五年十一月十二日北文館）、『書窓遠景其他』（昭和十四年十一月十五日長崎書店「基督教文庫」）等その他、『柏井全集』全六卷（第一卷・大正十一年十一月十日警視堂書店、續編全二八卷・昭和九年刊）がある。

